

## 平成26年度第6回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会の概要

- 日 時： 平成26年10月28日（火） 午後2時30分～4時00分
- 場 所： 京都市立京北病院
- 出席者： 理事長 内藤 和世  
理 事 森本 泰介, 新谷 弘幸, 桑原 安江, 大森 憲,  
山本 壯太, 能見 伸八郎, 木村 晴恵  
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 損害賠償の額について

### 3 報告

#### (1) 経営状況月次報告（9月分）及び第2四半期報告

- 京北病院において、診療所や訪問看護，訪問診療等は堅調であり，存在意義の1つを立派に果たされている。一方で，根幹部分である入院や外来が減少しているが，今後の見通しはどうか。
  - ・ 一般病床については，昨年度が突出して好調であった。今年度は落込みが続いたが，10月は回復傾向にある。老健についても，7～9月が低く，現在も目標には届いていないが，回復の傾向にある。
- 人口，年齢層，インフラ等の社会的な大きな変動はあるのか。
  - ・ 少しずつ人口は減っている。また，トンネルの整備等により，車の運転が可能な方にとって，市内へのアクセスが良くなった。状況の把握にしっかり努めていきたい。
    - ・ 高齢化とともに，在宅や身近なかかりつけ医へのニーズが高くなる。
- 京北地域の訪問看護，訪問診療は京北病院だけか。
  - ・ 訪問看護は京北病院だけである。訪問診療については，実施している施設がある。
    - ・ 在宅に関して，より高度な内容も含めた取組を行い，看取りなど対応可能な事項を増やすことで，ニーズの増加に努める。
- 最先端医療の京都市立病院と連携して，京北での役割を果たしているという一体感をもっとアピールしてもらいたい。

#### (2) 京北病院の訪問看護・訪問診療について

- より京都市立病院と連携されたら良いのでは。
  - ・ 緩和ケアチーム，がん専門看護師，緩和ケア専門看護師等様々な資源を京北病院でも活用できるよう，準備を進めていきたい。
    - ・ 京都市立病院では11月から助産師外来を開始する。将来的には，京北病院で，妊娠中や産後のサポート，育児支援等で助産師が関わればと考えている。
    - ・ 京北地域で様々なことが完結できるようになるよう法人一体となって努めていきたい。
- 今後，訪問看護の位置づけや必要性が非常に重要視される。訪問看護体制を整えることで，より良い環境作りを行うことができる。
- 医療や介護に関して，京北地域の未来は明るいのではないか。
  - ・ 今後も実践する姿を見せ，京北病院としての役割を果たしていけるよう努める。

### 4 閉会